



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

“ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を”

RI会長
ロンD.バートン
2570地区ガバナー
中井 眞一郎

継続 変革 簡素 充実

第 2557 例会 2013.8.21

—— 会員増強および拡大月間 ——

天 候 晴 (NO. 50-08)

会 長 吉田 武明 幹 事 山岸 敬司

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当 番 雨間君、馬場君

例会場：マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点 鐘 吉田武明会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・卓 話 佐々木敏行様

【会長報告】

昨日、山岸幹事と日高RCを表敬訪問、たいへん歓迎して頂きました。終了後、小峰会長、古本幹事と4名でガバナー公式訪問の打ち合わせ。正式な通達は改めてご報告致します。飯能の皆様によろしくとの事でした。

【幹事報告】

- ・H25年度飯能納涼花火大会への寄付に対し飯能市観光協会より礼状
- ・大韓民国東清州RCより第45代会長就任の挨拶状。皆様の健康を祈るとあります。
- ・第4回理事会は9/4、11時半です。

◎例会変更のお知らせ

◇入間南RC

- ・9/10(火) 8日(日)狭高祭に振替
- ・9/17(火) 月見家族例会 メトロポリタンホテル25F「エスト」
- ・10/8(火) 10日(木)入間RCとの合同例会に振替
- ・10/15・22(火) 26(土)27(日)万燈まつりに振替
- ・10/29(火) 例会取止 (定款6-1-C)

◇新所沢RC

- ・9/17(火) 移動例会 於(株)三巧リフォーム
- ・9/24(火) 移動例会
- ・10/15(火) 移動例会
- ・10/22(火) 移動例会
- ・10/29(火) 振替休会 26・27日所沢市民フェスティバル参加

【委員会報告】

- ◎青少年奉仕委員会 大野君
次週、ディスカッションのためのご意見をご提出ください。議論の材料にします。
- ◎雑誌委員会 土屋(良)君
「友」8月号。宮津湾の花火、名古屋の祭が表紙。横組P1、RI会長。P12「ロータリー例会の食事では会話を楽しまう」。P14、リスボン国際大会。P26「ロータリー希望の風奨学金現況報告」。縦組P2、エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの友好について(串本町長)。P13「卓話の泉」漆工芸、他。
- ◎親睦活動委員会 吉田(行)君
飯能RC親睦ゴルフ会10/4 飯能グリーン。

【出席報告】無断欠席なし 福島出席委員

会 員 数		当 日		前々回修正 出 席 率
全 数	対 象	出席数	出席率	
57名	6名	51名	88.68%	92.59%

【M U】

8/20 (日高) 吉田(武)君、山岸君

【結婚・誕生日祝】

- 雨間親睦活動委員
- ◇喜寿おめでとう 吉田 健君
- ◇入会記念日おめでとう
大木君、橋本君、増島君、田辺君、和泉君
小川君、土屋(崇)君、小谷野君、吉田(行)君
吉澤君、中里(忠)君、大崎君
- ◇会員誕生日おめでとう
11小谷野君、22吉澤君、25吉田(健)君
26高橋君
- ◇夫人誕生日おめでとう
3市川(昭)夫人、11中里(忠)夫人、15小崎夫人
21小谷野夫人、24大野夫人、26山川夫人

【S A A 報告】

◎ニコニコBOX

- ・77才になりました。有難うございます。吉田(健)君
 - ・佐々木敏行様、卓話有難うございます。
吉田(武)君、山岸君、山川君、間邊君、小谷野君
杉田君、服部君
 - ・外国人による日本語スピーチコンテストに御協力有難うございました。市川(洋)君
 - ・35回目の入会記念日になりました。橋本君
 - ・入会記念有難うございます。小谷野君、小川君
吉澤君、土屋(崇)君、田辺君、中里(忠)君、増島君
和泉君、吉田(行)君
 - ・誕生日祝有難うございます。
小谷野君、高橋君、吉澤君
 - ・妻の誕生日祝有難うございます。
山川君、小谷野君、小崎君、中里(忠)君、大野君
 - ・遅刻 小川君
 - ・早退 高橋君、田辺君、和泉君
- 本日計67,000円、累計額186,000円。
◎28日例会当番は藤原、福島会員です。

【卓 話】

講師紹介 中里(忠)会員増強委員長
1965年、札幌生まれ。47才。20代で世界各地を放浪。94年、会社設立。日本発のカーナビゲーションGPSデータを作成。03年、貿易事業に転換、世界20数か国と取引。商材発掘、商品企画・開発・輸入・デザイン・販売を一貫して行い、直営店を展開。

グローバルビジネスと グローバルコミュニケーションについて

(株)FAR EAST 代表取締役 佐々木敏行様

[パワーポイント使用] 飯能市久須美に本社を置き、主に途上国と貿易を行い、日本全国で直営店、卸売り展開。ブランド名はFAR EAST BAZAAR (世界の東の果てのバザール)。渋谷ヒカリエ、二子玉川、梅田阪急、JR大阪駅、名古屋松坂屋、9/5から吉祥寺店と、ここ数年は直営店展開の予定。従業員のほとんどは女性。企業理念は世界のその土地その土地のありようをよく体現した商品を持って、文化とストーリーを商品に乗せて運ぶ事。公平・公正・安全、ナチュラル・オーガニック・フェアな物の提供。第一義は「細くとも長く」。先進国のマーケット事情に途上国の貧困村の生産者の事情を合わせるのは耐え難い。そうではなく、それぞれの身の丈に合ったビジネスをという事です。途上国の商品はまだ日本市場で信頼があるわけではないので、可能な限りその価値を高めて展開する。最後のサティスファクトリーは「関わる者全てが満足出来るようなビジネスモデル」。最先端、高品質の物を扱うマーケットで商品価値を保つ。日本の市場では「どこで売っているか」である程度価値が決まってしまう。地域一番店「ここに置いてあるなら間違いない」というところとの取引。ホテルならファイブ、シックススター。パブリシティをもらえるところに展開して価値を高める手法を採っている。販売ではエキゾチックな格好をした女性達が各国の文化やストーリーを徹底的に語り、量り売り、味見等を誘引する。顧客満足度を高めるため、徹底的にお客様に関わって頂く。関われば関わる程満足度は高まり、一方的にされればされる程不満を見つけるという購買心理がある。

何よりも大事なのは働き甲斐。従業員には20代をバッグパッカーで過ごした私のような人やアフリカンダンサー、前衛芸術家、一流大学出身者もいます。現在70数名。他の商社と違い、販売スタッフはすぐに現地に行く。うら若き女性達がシパピルスのジャングルをかき



分け、手漕ぎのカヌーで行ったりするのです。彼女達が肌身で感じた感動や知見を店先での販売、商品開発に活かしていく。出張では12時までホテルの部屋に帰ってはいけないという“逆門限”の掟もある。女性バイヤーが世界中を飛び回りどこにでも足を運ぶ。

日本市場への参入について海外講演もします。パレスチナでは防弾車で講演会場まで行きました。日本の市場は憧れで、足掛かりを作りたい人が世界中にいらっやいます。

3. 11の時には3週間後に20数名のキャラバンで現地に入り、炊き出し等、いろいろさせて頂きました。

ジブチ共和国は95%が砂漠で『猿の惑星』のロケ地。平均気温58度、最高71度。暑さで岩がシンパ音を立てて割れる。荒涼とした大地にエメラルドを嵌め込んだようなアッサル湖は死海よりも塩分濃度が濃く世界一。ここでは人の手に依らない完全自然結晶の玉の塩が出来る。07年“謎の東洋人”として我々が出向き、初めて国外にそれを運び出す。今では大使夫妻が天皇陛下に会われる際、お土産にもされるそうです。先日、横浜でのアフリカ開発会議(TICAD5)でジブチの大統領より「唯一の資源である塩を日本に紹介してくれて有難う」と我々は表敬訪問を頂きました。

03年、100年続いた塩の専売制が解除され、ピンク色のヒマラヤ岩塩を日本で初めて輸入。バッグパッカーの時に「塩は無くってはならないもの」と思い知らされ、貿易を始めた時無くってはならないものと思立った。日本の税関では最初、ピンク色の物は塩だと認められなかった。今では1500銘柄もある。塩(salt)は給料(salary)の語源。今でもマリ共和国の一部で貨幣の役割を果たす。世界の塩が一堂に会するコンセプトのギフト。同じ海の水でも時代、環境、背景、生成方法でこんなに違う姿かたちになる。結構ヒットしました。

紀元前6000年代のメソポタミアから受け継がれる世界最古のドライフルーツ「ナツメヤシ」。幾つも屋敷をを経て到着したシーワ・オアシスには泉が181か所、塩湖、オリーブの油、ナツメヤシの糖と、生きる条件が揃う。伝説のオアシスと呼ばれる由縁。移動手段はロバ、自転車。これらのストーリーもパッケージで紹介。滋養に富んでおりNo. 1の売れ行きです。

オーガニック・ドライフルーツ。ウガンダの古代湖・ビクトリア湖に浮かぶブッシ島、人口300人のジャリ村。全員が不法定住者、96%が貧困層、平均寿命42才。搾取のような、タダ同然の値段でフルーツが買い取られる。対岸の町医者に子どもを連れていくだけのお金が欲しいとの事。ここで何とか日本市場に通用するような商品を作ろうと、徹底的にミーティングを行い、新しい作付け、工場の改築、貿易実務を教えた。1つの商品を生み出すのに4年。ドライ・パイナップル、2次加工品のチョコ、クッキー、ジャム等も作った。ある程度利潤を得たところで彼らを日本に呼び寄せ、日本の町工場等を見せ、また、都内のショップで自分達の作ったドライフルーツの売られるところを見て感動していました。

現地の投資機関や在外公館、政治家の人達を動かすのも我々の仕事の1つです。4日間で20万人が来場するインターナショナル・ギフト・ショーに彼等のブースを出し、文化、商材、商習慣をお披露目したところ、連日問合せ多数、取引申し込みが多かったです。日本で得た知見を村に持ち帰り、村のボトムアップ、モチベーションを上げる会議を開いています。アフリカ開発会議では安倍首相等も我々のブースを表敬してくれました。

「世界には皆が知らない素晴らしいものがまだまだたくさんある」。ご静聴有難うございました。

※次週の例会案内は省略。